

越谷市立小中一貫校整備PFI事業（仮称）蒲生学園建設説明会質疑回答

- 1) 実施日 : 令和6年7月29日(月) 午後6時30分～
令和6年8月3日(土) 午前10時00分～
- 2) 会場 : 蒲生地区センター3階多目的室
- 3) 参加人数 : 37名(総数) 参加率2%
- 4) 質疑件数 : 31件
 - (内訳) (1) 搬出入経路に関する事 : 4件
 - (2) 外構整備に関する事 : 3件
 - (3) 家屋調査に関する事 : 5件
 - (4) 学校設備・諸室に関する事 : 18件
 - (5) その他に関する事 : 1件

(仮称) 蒲生学園建設説明会 質疑回答内容

	質問	回答	項目内容
1	校舎解体期間中のグラウンドへの移動についてであるが、工事中であっても子どもたちだけでグラウンドに移動ができるようにするということが。また、学童保育室の子どもたちは、解体期間中はグラウンド等が使用できるのか伺いたい。	新校舎完成後、グラウンドに移動できるよう安全通路を設置する予定であるが、校舎解体工事の場所と近接しているため、上方からの落下物が児童にあたらないよう、屋根付きの通路を設置する予定である。詳細については、学校と協議・調整を行いながら、基本的には児童だけで移動ができる通路の検討を進めてまいりたい。 次に学童保育室のグラウンド使用についてであるが、新校舎には子どもの遊び庭であるとか、あるいは、新校舎内のプールがオフシーズンには床が上昇し、軽運動ができるようになっているので、そのような場所を利用し対応してまいりたい。	学校設備・諸室に関すること
2	学校敷地の北側に居住している。建設にあたって3mの仮囲いが設置されるとのことだが、設置期間はどのくらいになるのか。また、新校舎に太陽光パネルを設置する計画だが、蓄電池の設置はあるのか。	学校敷地北側の仮囲いは、新校舎建設に係るものなので令和6年9月から令和8年7月まで設置させていただきたい。近隣住民の方々の安全を確保するため設置するものなのでご理解いただきたい。また、蓄電池については、設置する計画にはなっていない。10kw程度の太陽光パネルを設置予定だが、例えば災害時に避難した方々が携帯電話等の充電が可能な計画としている。	学校設備・諸室に関すること
3	3mの仮囲いを設置することで、日照の問題とが生じないのか。	仮囲いを2mに下げるということは可能であるが、例えばある家庭では3mの仮囲いを設置し、別の家庭では2mの仮囲いを設置することになると、仮囲いの高さがまちまちになってしまい、安全性が保てないので非常に難しい。近隣の皆様からご意見がありましたら、検討させていただきたい。	外構整備に関すること
4	校舎北側に駐車場と駐輪場が設けられているが、駐車台数と駐輪台数を教えていただきたい。また、駐車場と駐輪場が一緒になっているので、車両の出入口部分の安全面についてどう考えているのか。	駐車場の台数については、軽自動車の台数を含めて75台分としている。また、駐輪場の台数は、自転車40台が駐輪できる計画としている。また、駐車場と駐輪場との間には、車止めを設け、基本的には東側から車両が出ていかにように計画している。従って、自転車は東側から、車両は西側からの動線とした計画としている。	学校設備・諸室に関すること
5	駐輪場は中学生が使用するものなのか。それとも来客用のものなのか。	新たな中学校は、今の南中学校よりも近くなるので、自転車で通学する生徒は基本的にいないものと考えているので、近隣の方々や教職員が利用する駐輪場として考えている。	学校設備・諸室に関すること
6	小学校と中学校の災害時における収容人数について伺いたい。また、災害がおきたとき周辺の皆さんが安全に避難出来る計画になっているのか伺いたい。もう1点、エレベーターは設置されるのか。	小学校29学級、中学校21学級を想定しており、小学校児童数939名、中学校生徒数781名を想定している。また、職員数は小学校60名、中学校40名の計画である。また、避難所としてアリーナは避難所機能を有しており、西側階段・中央部の階段を設置するとともに、防火区画を設けているので、安全にも配慮した計画としている。エレベーターは設けているが、通常は給食搬入時に使用する目的で設置したものとなる。災害時には、利用できるが安全が確認されてからの対応となる。	学校設備・諸室に関すること
7	新校舎は校長室が2室、職員室は小中学校で1つになっている。校長が2名となるが、この2名が学校の責任者となるのか教えていただきたい。	(仮称) 蒲生学園は、蒲生小学校、南中学校、そして蒲生南小学校で構成されているので、3人の校長で構成される。従って、統括校長としてリーダーシップを発揮してもらえるよう規則等を整備し、3名の校長から1名を任命してまいりたいと考えている。	学校設備・諸室に関すること
8	放課後の小学校と中学校の棲み分けはどのようになっているのか。中学生は部活等で校庭利用すると思われるし、小学校は学童保育室があり、子どもたちが校庭で遊んだりしていると思うが、そのあたりのことが出来なくなるのではと心配している。	校舎の間に緑の遊び場というものを設けており、学童保育室の子どもたちが遊べるようになっている。なお、放課後の校庭使用については、今後、中学校と小学校とで協議を行いながら、どのような形で行っていくのかについて検討していく。	搬出入経路に関すること
9	小学校にあるジャングルジムなどの遊具が緑の遊び庭にない。今からでは無理だと思うが、小学生が遊べるスペースとして、この緑の遊び庭をグラウンド方向に拡張できないかと思う。また、グラウンドの植栽に関してだが、日影の場所がないということや休憩スペースがないという感じがするので、もう少し小学生向けの施設を増やすことはできないかと思う。	緑の遊び庭には遊具が設置されていないが、グラウンドの東側にジャングルジムや滑り台、雲梯、ブランコ、鉄棒を配置している。また、高木の樹木が少ない計画になっているが、これは近隣住民から落葉するため、高木の樹木はやめてもらいたいと要望があったこと、また、当初既存の樹木を活用することを考えていたが、現地を調査したところ、枯木になっているため倒木等の危険性があった。このため、安全対策と比較的設置しやすい、余り高くない常緑樹を植栽する計画としている。なお、緑化計画上、面積を確保する必要があることから、その分は確保している。	学校設備・諸室に関すること

(仮称) 蒲生学園建設説明会 質疑回答内容

10	屋上緑化とあるが、屋上に芝などを設置する予定はあるのか。また、芝などで緑化を行った場合、この維持管理は学校が行うのか。	維持管理については、数十年はPFI事業者が行っていく。また、屋上緑化の植栽自体は、灌水設備を必要としないものなので、水を与えなくとも育つ植物を選定している。	学校設備・諸室に関すること
11	学校に入るところの交差点に信号がない。これから段々と暗くなってくるが、暗くなったときは非常に危険である。工事の時間が、最大で午前7時半から午後6時半までということだが、暗くなることを想定すると、午後5時までになるのではないのか。また、工事車両はどこに止まるのか。午前7時半までどこで待っているのか。そのようなことは、その場になってみないと分からない、ということでは遅いのではないと思う。子どもたちの安全を確保するために、手押し信号を設置してもらいたいと思う。	工事車両の件であるが、まずは工事車両の出入口に交通誘導員を常駐させ、子どもたちの安全確保に努めていく。また、工事の内容によって、車両の出入りが多くなる時期とそうでない時期があるので、特に多い時期については、さらに人員を増やして対応していきたいと考えている。また、児童の帰りの時間が異なるので、学校と連携を図り帰宅時間帯の把握に努め、子どもたちの安全確保を図っていきたく思っている。なお、信号設置については、埼玉県公安委員会との連携が必要であり、我々単独で手押し式の信号が設置できるわけではないことから、関係各課、関係各所と連携を図りながら要望があったことにつきまして、情報共有していきたい。	搬出入経路に関すること
12	駐車場側に学童保育室があるが、学童保育室が全く陽が当たらないところに並んでいる。それと特別支援学級についてであるが、交流も含めて何故、小学校と中学校を一か所に集めているのか。9年間固定になるということなので、小学校と中学校が同じ階に一つになるということは疑問に思います。それと、職員室が1階南側に設置する意味は何なのか。そこに特別支援学級を入れてもらいたいと思う。	職員室を南側に配置しているのは、グラウンドに面して配置することで、何か問題が生じたときに対応ができるよう配置している。学童保育室の配置については、学校と学童保育室の運営時間が異なるので、管理門を設けて学校の運営時間外においても学童保育室の迎えの時間等に対応できるように配置している。特別支援学級については、緑の遊び庭に面するとともに、菜園や飼育小屋にアクセスしやすい計画としている。	学校設備・諸室に関すること
13	基本的には、教員の車は学校敷地に置くべきものではないと考えている。学校の立地条件や先生の通勤の都合とかあると思うが、学校敷地外に駐車場を借りるなど確保すべきものであると思う。	市内の小中学校では、職員の車両を校内に駐車している状況にある。これは市全体として考えていかなければならないことであると考えていることから、貴重なご意見として賜りたい。	家屋調査に関すること
14	他の特別教室には準備室があるが、学校図書館にはないのか。小学校と中学校が一緒なのに、学校図書館は一つしかない。どのような区切りをするのか。本の配置や閲覧する場所など、もう少し考えを深めてもらいたい。また、エレベーターはないのか。資料を見てわからないので、あるのであれば何処にあるのかを教えてください。	エレベーターは、1階北側の階段のところに配置し、車いす対応のエレベーターとして移動できる計画になっている。また、給食配達時にプラットホームから上階に給食を運搬する際に利用する計画となっている。	学校設備・諸室に関すること
15	保育所側や東側の道路が狭い。今ある体育館を下げるのが出来ないのはわかるが、他の部分をこの改修の際に下げるなり、道路を拡張するなど、災害がおこった時の対応が図られるようにすべきではないか。	道路拡幅については、市全体の課題であるので、いただいた意見を関係各課と情報を共有していきたいと考えている。	その他に関すること
16	特別支援学級や普通学級にも必要であると思うが、クールダウンの部屋だとか、更衣室は確保されているのか。	クールダウンの部屋については、特別支援学級の教室にカーテンレールを設置し、そのスペースを確保する計画としている。また、更衣室については、小学校はオープンスペースを設け可動間仕切りで仕切られるようになっていっているので、そこに小部屋をつくるなど更衣室として利用できる計画となっている。また、2階にはアリーナ用として更衣室を設け着替えができる計画としている。	学校設備・諸室に関すること
17	緑の遊び庭を広げるために職員室の位置をもう少しグラウンド側に移動することはできないのか。小学校のグラウンドは、唯一ボール遊びができる場所ではないかと思っており、それが中学校と一緒にになると、部活動等で利用ができなくなるのではないのか。	緑の遊び庭については、建物全体計画に関わってくる内容のものになる。新たな校舎を建設するところは、現在、更地になっているところであり、仮囲いの設置を行いその中で工事を行うことになる。既存校舎があり、この既存校舎の解体を行わないと工事範囲を広げることが出来ないという状態であるので、ご理解いただきたい。また、今回の整備にあたっては、グラウンドに200mトラックが2つあるということで、大変広い校庭となっている。これから運用上の協議となるが、小学生の使用場所や時間帯など、学校と共に協議を進めていくのでご理解いただきたい。	学校設備・諸室に関すること
18	子どもが蒲生保育所に通園している。送り迎えの車両が止まっており、なるべく短時間で出入りするように保護者も気を付けているが、学童保育室の送り迎えに加えて、工事車両が入ってくるとなると、現実的には難しいということがあると思う。	計画を進めるにあたっては、西側に保育所があり、送り迎えの車両があるということは認識しており、車両によっては渋滞が発生しているということも理解している。学校が始まる時間と保育所の始まる時間について、今後もよく把握したうえで、工事車両の通行について考えていきたいと思う。ただ、通行しなければならない時間帯もあるので、ご理解いただきたい。	搬出入経路に関すること

(仮称) 蒲生学園建設説明会 質疑回答内容

19	<p>体育館に関してですが、小学1年生から中学3年生まで使用するというので、安全性に関して心配している。民間であったり埼玉県でプール事故がないわけではないので、安全対策をどのように考えているのか。</p>	<p>プールは、可動床のプールとなる。他市等でも可動床のプールがあるが、安全面では問題ないと思っている。人員の配置については、水泳指導において1クラス1名ということではなく、複数の教員を配置して安全面を確保する水泳学習を行っているため、今後においても安全確保を第一に考え学習を進めてまいりたいと考えている。</p>	<p>学校設備・諸室に関すること</p>
20	<p>小学校の登校時間に交通指導員が子どもたちの見守りを行っている。出来ないことは仕方がないと思うが、出来る範囲で子どもたちの安全を確保していただきたい。父親が自治会の役員を務めており、子どもの見守りで地域の方が行っていることもあるので、折角の機会なので計画に入れてもらいたいと思う。</p>	<p>交通指導員については、学務課とくらし安心課が連携し、現在、市内に70名配置している。学校の要望に従って、両課の職員が要望された箇所を確認したうえで配置を行っていることになるので、連携を図りながら進めさせていただきたい。</p>	<p>搬出入経路に関すること</p>
21	<p>家屋調査は、学校と接している場所になっているが、調査はこの場所しか行わないのか。他にも調査をお願いしたいという家があった場合、調査を行ってもらえるのか。何軒か希望がある家があるので、お願いしたい。</p>	<p>今回お示したところが調査の範囲として検討したところである。他の場所の家屋調査については、個別に意見を伺いながら、いつ伺うかも含めて調整させていただきたい。</p>	<p>家屋調査に関すること</p>
22	<p>卒業生の記念樹として桜の木があるが、その樹木は今後どうなるのか、移植という形で残していただきたいと思う。何十年も子どもたちを見守ってきた桜の木なので、このシンボルツリーと書かれている樹木は、新しい樹木になるのかと思うが、何らかの形で樹木を移植して保存していただきたいと思う。</p>	<p>旧蒲生小学校の桜の木は、挿し木・接ぎ木で保存している。南側の校舎（旧蒲生第二小）の樹木については、調査したところ倒木等の恐れがあり、保存するには難しいとの調査結果であったため、伐採せざるを得ない状況である。一方、旧蒲生小の柳、桜、ユズリハについては、挿し木・接ぎ木にて育てており、成長の度合いを見てシンボルツリーとし、また、挿し木・接ぎ木にて残った樹木については、周りに移植していきたいと考えている。</p>	<p>学校設備・諸室に関すること</p>
23	<p>他の樹木については、落ち葉の問題があるということだが、殺伐とした建物になるのではと感じる。この大きなグラウンドの周りには緑さえない、ネットを張っただけの学校になってしまうのではないか。</p>	<p>法令上、埼玉県条例を遵守する必要があり、埼玉県の緑化計画に則った緑化率を確保するというので計画を進めている。敷地外周が緑地になるわけであるが、樹木は緑地帯に2.5mから4mの高さの樹木を植栽する計画である。</p>	<p>外構整備に関すること</p>
24	<p>家屋調査の訪問日は、事前に連絡はいただけるのか。また、振動等によって家屋にひび割れが生じた際に、老朽化という言葉で片付けられた経験がある。老朽化という意味はどこからなのか教えてください。</p>	<p>家屋調査の件ですが、調査は建設を行うところが実施するというのではなく、第三者機関に依頼し調査を行うことになる。まず、訪問する前に対象となる各ご家庭一軒ごとにお伺いし、調査予定日を決めさせていただく。調査日決定後、基本的には内外の状況を調査させていただきたいと考えているが、ご家庭によっては家の中は遠慮してもらいたいという場合もあるので、その場合は行わない。また、老朽化についての判断は、第三者機関が調査を行い写真等の記録を収める。例えば、工事前にひび割れがあり写真に収め、再度、調査したときに確認を行うということになる。</p>	<p>家屋調査に関すること</p>
25	<p>新たにひび割れが生じた場合、建物が老朽化しているという区分になってしまうのか。</p>	<p>元々ひび割れが入っていたところではなく、新たな場所に生じた場合は、工事に起因するものとして判断するのが妥当であると思うが、それは第三者機関が判断することになる。事後調査の時に皆様のお宅に伺いながら、調査させていただく。</p>	<p>家屋調査に関すること</p>
26	<p>何年経ったら老朽化です、という区分にはならないのか。</p>	<p>そのようなことにはならない。余程、倒壊しそうな家屋でない限り、そうはならないと思う。</p>	<p>家屋調査に関すること</p>
27	<p>アリーナは、災害時に地域住民が避難できる場所となるようだが、大体の収容人数を教えてください。さらに、キュービクルというのは、調べると防災用電源としての役割と書かれていたが、これは避難したときに活用ができるものなのか、教えてください。</p>	<p>アリーナの災害時における収容人数ですが、アリーナの面積が1,100㎡あり避難者1人当たり4㎡で換算すると、およそ275人程度の収容人数と想定している。また、屋上にキュービクルを設けているが、基本的には電気を送るものである。屋上に設置した理由としては、階下に設置した場合、仮に水害が発生した際には浸水してしまい、完全に電気が止まってしまう恐れがあることから設置したものである。従って、このキュービクルは、あえて防災のために設けられたものではなく、通常の電気設備ということになる。先ほど、避難者1人当たり4㎡とご回答したが、危機管理課に確認したところ、1人当たり2㎡で換算しているため、最大の収容人数は500名を超えるということになる。訂正させていただく。</p>	<p>学校設備・諸室に関すること</p>
28	<p>緑化率を高めるために屋上に緑を増やすというのは、教育上の効果も薄れるし、校庭に樹木を植樹しないということにはならないのではと思う。個人的な意見だが屋上緑化というのは見直していただきたいと思う。</p>	<p>屋上を緑化する趣旨は、建物の中は空調設備で整備していきますが、最上階というのは太陽光の熱を受けやすい状態になります。そのような状態を極力軽減していく、空調負荷の低減、環境に配慮するというので屋上緑化を行ったわけである。</p>	<p>学校設備・諸室に関すること</p>

(仮称) 蒲生学園建設説明会 質疑回答内容

29	<p>フェンスにツル科植物という説明でしたが、ツル科の植物は全て上に伸びていくものではなく、下の方に生えていくという場合もあると思う。その場合の管理は誰が行うのか。また、グラウンドに樹木が1つもない。子どもたちがこのグラウンドで、どのように日影を確保していくのか。</p>	<p>緑化フェンスのツル科植物の管理についてであるが、最初の数十年間は維持管理業務としてPFI事業者が行うことになる。その後は、学校側の対応となる。草が生い茂る状況というのは、余り好ましくない状況となるので、出来るだけ管理しやすいものを考えている。南側の樹木を残すということが出来ない状況でしたので、屋外倉庫等の建屋廻りなど部分的になってしまいが、休憩できる階段スペース等を利用してもらうような計画としている。</p>	<p>外構整備に関する こと</p>
30	<p>駐輪場に40台の自転車が止められることになっているが、これは職員の方の駐輪場ということか。保護者が自転車で学校に来る場合、自転車が止められるスペースはあるのかと心配になる。</p>	<p>駐輪場は教職員や来校される来客の方が自転車を止めるスペースとして確保しているが、入学式等のイベントにおいては、くらし安心課と協議し、既存屋内運動場の北側に自転車が置けるスペースを確保することとしている。また、それ以上のスペースが必要な場合には、あいぎつ広場を利用するなどの対応を考えている。</p>	<p>学校設備・諸室 に関する こと</p>
31	<p>昇降口だが、小学生は東側に昇降口があるので東側から、中学生は西側にあるので西側に回って昇降口に入る、という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>小学校は東側に設け中学校は西側に設けている。小学校の普通教室を南側にしており、また、中学校の普通教室を北側に配置している都合上、小学校と中学校の動線がスムーズになるよう計画している。昇降口近くには、それぞれ階段を設け各教室への移動をしやすいよう配置している。</p>	<p>学校設備・諸室 に関する こと</p>